部局名	消防本部	所属名	消防署	所属長名	岩井 精一	電話	458-0119 内線100
-----	------	-----	-----	------	-------	----	----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3363	事務事業名称	救急活動事業				短縮コード	経常	3363	臨時		
予算区分	会計	01	一般会計	款	09	消防費	項	01	消防費	目	01	常備消防費
区分	☐ 自治事務 ☒ 法定受託事務 ☐ その他		根拠法令等	消防組織法, 消防法, 消防力の整備指針								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
消防組織法第1条, 消防法第1条に基づいて救急業務を実施している。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱 (章)	03	安全・環境共生都市をめざして					
今後西八千代地区の開発に伴い、人口の増加による救急出動件数の増加が見込まれる。 新型インフルエンザ及び鳥インフルエンザについても警戒をしながら万全な救急体制が必要である。 消防庁は、厚生労働省と共同で「救急救命士の業務のあり方等に関する検討会」を開催し、更なる救急救命士の処置拡大が推測される。					大項目 (節)	01	市民の安全					
					中項目	02	消防					
					小項目 (施策)	03	救急・救助体制の充実					
					細項目	01	救急・救助体制の整備					
						03	医療機関との連携強化					
				実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間	平成22年4月 ~ 平成23年3月		計画事業費	千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	原則として市内で発生した傷病者						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成22年度に実際に行ったこと: 救急出動件数は7,806件でした。このうち医療機関に搬送した傷病者は7,122人で、救急患者全員に応急手当を実施しました。救命率の向上のための救急隊訓練を実施した。 ※平成23年度に計画していること: 万全な救急体制を維持し、救急要請のあった全ての救急に出動します。救命率の向上のための救急隊訓練を実施する。						
意図 (何を狙っているのか)	適切な応急手当を行い迅速に医療機関に搬送する。						
ねらい (上位施策の意図)	入力対象外						
区分	指標	内容	単位	21年度	22年度		23年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	出場件数	件	7,105	7,400	7,806	8,600
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	搬送人員	人	6,364	6,600	7,122	8,000
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	出場から到着までの時間 (分)	分	7.8	6	8.6	8
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3363	事務事業名称	救急活動事業			所属名	消防署
	単位	21年度		22年度		23年度	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円				
		地方債	千円				
		一般財源	千円	3,535	4,612	5,037	4,393
	その他	千円					
主な事業費の内訳		普通旅費		普通旅費		普通旅費	
		消耗品費		消耗品費		消耗品費	
人件費(B)		千円	385,231	384,300	380,290.5	384,300	
トータルコスト(A)+(B)		千円	388,766	388,912	385,327.5	388,693	

3. 事務事業の評価(S E E)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	☐ 結び付いている ☐ 結び付くが見直しの余地がある ☐ 結びつきが弱い・ない ☒ 評価対象外事項	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外			
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	☐ 達成している ☐ 達成していない ☒ 評価対象外事項	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外			
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	☐ 可能性はある ☐ 可能性はない ☒ 評価対象外事項	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外			
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	☐ 現状のままでよい ☐ 見直す必要がある ☒ 評価対象外事項	事業区分「法定受託事務」のため評価対象外			
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	☐ 有効性向上の可能性はある ☐ 効率性向上の可能性はある ☐ 両方可能性はある ☒ 可能性がない	この事業は、法に基づき開始した義務的事业であり、発生した救急事案に対する救急搬送を主体にする為、事業の性質上「可能性がない」としますが、救急は、迅速な医療機関への搬送及び救命率の向上を図ってまいります。			
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等	類似事務事業名称	1		実施主体(所管部署)
		☐ 臨時的任用職員等の活用				
		☐ IT化等の業務プロセスの見直し				
	☐ 受益者負担の見直し					
☐ 類似事業との統合・役割見直し						
☐ 上記以外の方法		2			実施主体(所管部署)	
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	☐ ある ☐ ない					

コード	3363	事務事業名称	救急活動事業			所属名	消防署																						
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		☐ 改革・改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他			法に基づき開始した義務的的事业であり、今後とも、市民の安心・安全のため、万全な救急体制を維持し事業を継続していく必要があります。																							
			☐ 廃止・休止 ☐ 事業完了 ☒ 現状のまま継続																										
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td>☐</td> <td>☒</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> </tbody> </table>						経費			削減	不変	増加	成果	向上	☐	☐	☐	不変	☐	☒	☐	低下	☐	☐	☐	この事業は、急病等の救急要請に対応する救急業務である為、その性質上成果は不変です。		
		経費																											
		削減	不変	増加																									
成果	向上	☐	☐	☐																									
	不変	☐	☒	☐																									
	低下	☐	☐	☐																									

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
いち早い現場の到着、質の高い応急処置、医療機関への早急な救急搬送が求められている。	

所属長コメント	<p>救急活動事業は、救急患者を病院等に搬送する救急出動が主体の事業です。平成22年度は、新型インフルエンザを警戒しつつ、救急要請にこたえ救急サービスを展開することができました。近年は、高齢化社会にあって、救急需要が増大する傾向にあるため、救急救命士を全救急車に配置し、救命率向上に努め、救急患者の病院等への短時間収容を目指すと共に、救急体制を万全なものとしてまいります。</p> <p>重症患者の救命率の向上にあっては、東葛飾南部メディカルコントロール体制の下、適切な救命処置を実施するとともに、特定行為の際は医師から直接指示を受けながら救急搬送する救急体制を推進し、更なる救命体制の向上を図りつつ、継続して救急業務を展開してまいります。</p>	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他 ☐ 廃止・休止 ☐ 事業完了 ☒ 現状のまま継続	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。